

100年先、200年先のことを予感させる人が
今必要だと思う。——平賀源内のように！

わらび座 WARABIZA

奇想天外
みゅーじかる
歌舞音曲劇

げんない

平賀源内

夢は、追うことに
意味がある！！

イラスト 得松シヨージ

作・作詞・演出 横内 謙介

作曲 深沢 桂子 振付 ラッキィ池田・彩木エリ

わらび劇場公演より



平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

文化庁

2016年10月4日(火) 18:30開演
(18:00開場)

わくわくホリデーホール

(札幌市民ホール) 札幌市中央区北1条西1丁目

チケット料金 全席指定(税込): 6,000円

道新プレイガイド TEL.011-241-3871

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード:452-637]

ローソンチケット TEL.0570-084-001 [Lコード:11796]

セブン-イレブン 店内マルチコピー機

大丸プレイガイド(南1西3) TEL.011-221-3900

プレイ
ガイド

◆一般問い合わせ先

道新プレイガイド TEL.011-241-3871 <http://doshin-playguide.jp/>

【主催】わらび座ミュージカル「げんない」実行委員会(北海道新聞社、札幌商工会議所、札幌市教育委員会、道新文化事業社)

【特別協力】TVhテレビ北海道、オントナ

【協力】道新スポーツ、エフエム北海道

【提供】わらび座

奇想天外 ほんない

歌舞音劇

平賀源内

時は江戸時代の中頃、場所は江戸両国の見せ物小屋。高松・志度浦が生んだ希代の天才・平賀源内は世界でも珍しい電気発生器エレキテルを完成させたものの、生み出す火花は何の役にも立たず、書生の吉次郎(後の司馬江漢)、弟子の絵師・小田野直武(秋田でスカウトしてきた)らとともに、エレキテルショウを始めて稼ぐことにした。

かつて源内の語った夢に導かれて『解体新書』翻訳の偉業を為し遂げた蘭学者・杉田玄白は馬鹿げた見世物をやめるよう説得するが、未だ見果てぬ夢を追う源内の耳には届かない。そんな見世物小屋に、吉原に売られた娘・お千世が逃げ込んでくる。吉次郎らの助いで小屋に匿われることになったお千世は、そこで源内とその仲間たちの自由奔放な生き様に触れ、やがて自分も夢を見始める。

だが時は江戸時代。庶民が夢見ることを許される時代ではなかった……

「うのつく目に」「うのつくものを食べると縁起が良いといわれたかどうか?」
とにか、はやらないうなぎ屋の相談で、本日土用の丑の日」というポスターを貼りだしたのが源内とのこと。その習慣が200年以上経った今でも続いているのだからすごい。

土用の丑の日のうなぎ

初めての長崎遊学からしばらく経った1755年(宝暦5年)ごろ源内が作成したらしい。歩行に伴い内臓された振り子がゆれて歩行距離を測った。

万歩計も源内?

源内と言えはエレキテル、静電気の発生装置のこと。オランダで発明されたもので、壊れていたものの模造製作に成功した。明かりといえはロケットしか知らないような時代に、電気存在を伝える貴重なものだった。

エレキテル

源内と言えはエレキテル、静電気の発生装置のこと。オランダで発明されたもので、壊れていたものの模造製作に成功した。明かりといえはロケットしか知らないような時代に、電気存在を伝える貴重なものだった。

文士としての源内

江戸時代中期、上方(大阪)では西鶴、近松芭蕉などの活躍する時代、江戸に源内ありと言われているほどの活躍ぶりです。浄瑠璃や戯曲を作った。江戸弁を使ったという点でも珍しいものだった。作者名がまた面白。風来山人(ふうらいしんじん)と天竺浪人(てんぢくろうじん)と福内鬼外(ふくうちきがい)など遊び心満載。

源内の実績

国内初の物産会(博覧会)を開催

葉になる薬草や物産を全国から集めて、初めての物産会博覧会を開催したのは源内。国内の製薬に役立つ草や木々などを採取研究し、それに西洋からの博物学の体系を持ち込み、融合させる取組を展開。魚や草の精密画は当時の職人さんたち

が描いたのだらうが、今見てもすごい。

「げんない」作・作詞・演出 横内 謙介



「馬鹿ひとりならず、必ずとなり有り」源内先生が、若い友人の著作の序文に捧げた言葉です。論語の言葉「徳不孤、必有隣」を書き替えています。孔子より、源内先生の思想のほうがよいね。

鎖国中の江戸時代。侍が威張る時代。出口なしの島国で、見果てぬ夢を追いかけて、自由に生き抜いた先駆者です。いろんなことをやり過ぎて馬鹿、詐欺師とも誹られるけど、彼の周りでは愉快な事がたくさん起こり、ステキな物が生まれます。そして多くの人が「影響を受けて、自らの才能を開花させました。」

歴史のお勉強じゃない、オモチャ箱をひっくり返したような、油断ならぬ「奇想天外ショウ」をお届けするつもりです。何しろ両国の見世物のオナラ芸人を芸術として真剣に論じた天才です。

フツの舞台に仕上げたんじゃない先生に叱られます!

横内謙介・プロフィール

1961年9月22日、東京生まれ。劇作家・演出家。劇団「扉座」主宰。神奈川県立厚木高校在籍時、名義貸して演劇部に入部。先輩に奢られ、つかこうへい事務所の「熱海殺人事件」を観て芝居に目覚める。処女作「山椒魚だぞ!」にて演劇コンクール全国大会出場。1982年、早稲田大学第一文学部在学中に、厚木高校演劇部員だった岡森諒、六角精児、法政二高の部員だった村山良一らと劇団「善人会議」を旗揚げ。'93年「扉座」と改名、現在に至る。

劇団活動とともに、スーパー歌舞伎、ミュージカルなど、外部への作品提供多数。'92年、第36回岸田國土戯曲賞を「患者には見えないラマンチャの王様の裸」で受賞。'99年「新・三国志」で大谷賞を史上最年少で受賞。2015年スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」で大谷賞を再び受賞。

振付

ラッキィ池田



今回はミュージカルの振付というよりも、彩木といっしょに源内一座の座員になったつもりで振付をしました。深沢先生の変幻自在で摩訶不思議なメロディーに踊らされて、それはそれはまさに至福の時間でした。

そんな源内座長が、僕らの振付に、ただひとつ注文をつけました。「最後にタオルを回すところ。あそこはわしの好きな竹とんぼのようにタオルを回せ!すれば、気持ちも大空に舞い、さらにタオルを振り上げればマトイのようで威勢がいいわい!これぞ、名付けて源内回しだ!ワッハッハ!」今によみがえった源内は、この時代に来て「未来よやっ来て!」と、つねに叫んでいます!さあ、みなさんも源内に会ってください!

スタッフ

作・作詞・演出 横内 謙介 作曲 深沢 桂子
編曲 前嶋 康明 振付 ラッキィ池田・彩木エリ 浄瑠璃作曲 竹本葵太夫 浄瑠璃 竹本葵太夫・鶴翔 翔也 殺陣 大岩 主弥 美術 金井勇一郎 照明 塚本 悟 音響 福地 達朗 効果 中村俊夫 衣裳 樋口 藍 小道具 平野 忍 ヘアメイク 我妻 淳子 舞台監督 浪形 末緒 浄瑠璃協力 松竹株式会社 制作 わらび座 制作協力 坊っちゃん劇場

平賀源内役 三重野 葵

2003年わらび座入座。秋田県仙北市出身。わらび座若手俳優を代表する1人。2006年「坊っちゃん!」で初主演。「火の鳥 鳳凰編」で主演の我王役、「アトム」でも主演のトキオ役を務め、2011年は「おもひでぼろぼろ」で元宝塚トップスター朝海ひかるの相手役トシオ役を演じ、新境地を開いた。2013年は「ブッダ」のタッタ役で絶賛を得ている。



平賀源内誕生の地 さぬき市

平賀源内記念館は平成21年3月、平賀源内先生遺品館を移転、名称を改め新装開館しました。施設としては、記念館本館と、別館として550m西に在る旧邸・銅像・薬草園などとの2か所構成しています。



〒769-2101 香川県さぬき市志度587-1 TEL087-894-1684

平賀源内 記念館



わらび座は地域とともに、伝統とともに 一秋田から世界へ、世界から秋田へー
わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、5つの公演・グループで年間約1,000回の公演を全国で行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップも行っています。また、劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「あきた芸術村」を展開。ホテルや温泉ゆほぽ、田沢湖ビールレストラン、森林工芸館の他、中核となる「わらび劇場」では1995年より常設公演を開始。大劇場・小劇場あわせて年間約300回、わらび座作品だけでなく海外招聘作品を国際交流事業として上演するなど、多彩なプログラムを開催しています。

作品や公演に関するお問い合わせ わらび座公演営業部

〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430
TEL0187-44-3316 FAX0187-44-3318
Mail : info@warabi.or.jp http://www.warabi.jp

わらび座 検索